



日本シイエムケイ株式会社
(証券コード：6958)

2021年3月期 第2四半期 決算説明会資料

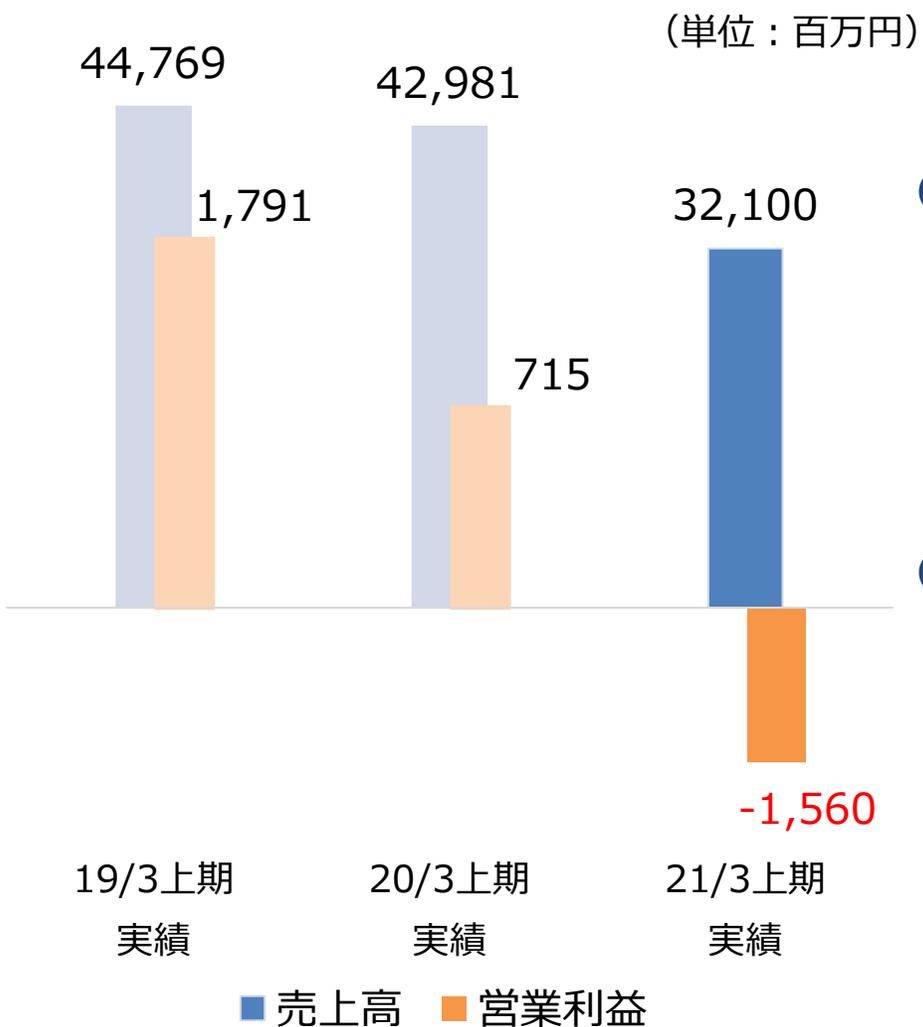
2020年11月20日

日本シイエムケイ株式会社

1. 2021年3月期上期 連結業績
2. 2021年3月期 連結業績見通しと取組み
3. 補足資料

1. 2021年3月期上期 連結業績

① 決算のポイント



- 新型コロナウイルスの影響によるグローバルでの自動車の生産・販売減少の影響を受けて売上高は減収
- 固定費削減等を推進したものの、売上高の減少などの影響により営業損失計上

②連結損益

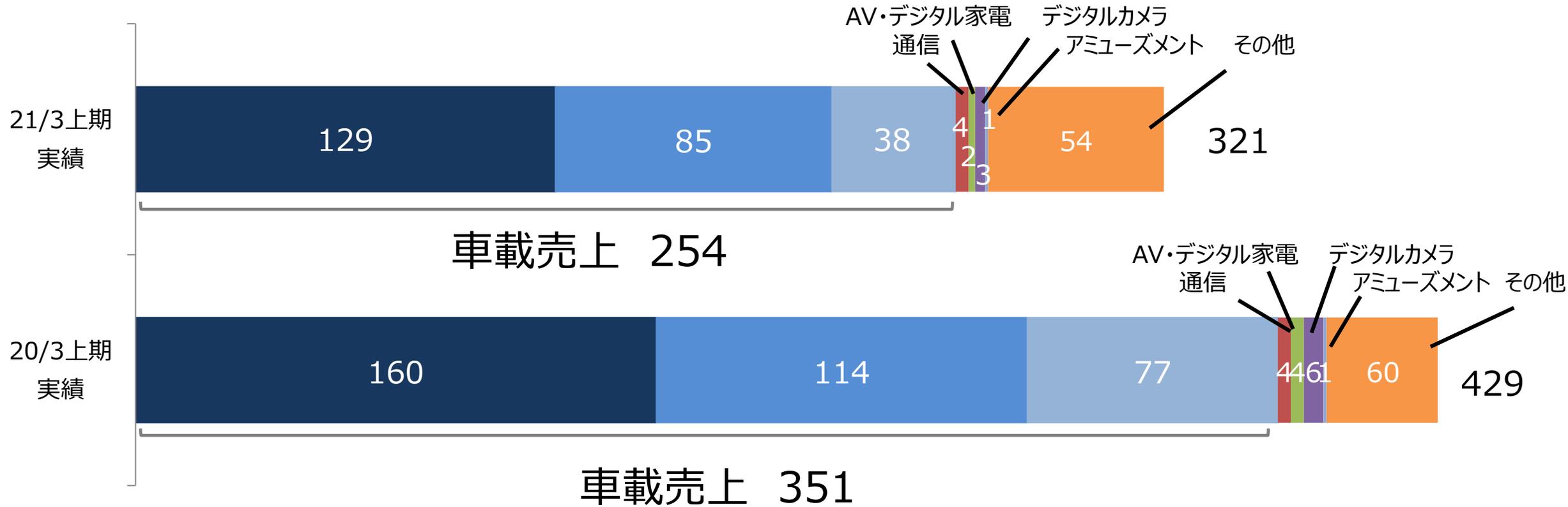
(単位：百万円)

	20/3上期 実績	21/3上期 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	42,981	32,100	-10,880	-25.3%
営業利益	715	-1,560	-2,276	-
率	1.7%	-	-	-
経常利益	779	-1,485	-2,265	-
当期純利益	287	-1,748	-2,035	-
平均為替レート (USD/JPY)	109.98	108.25	-1.73	-1.6%

※「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として記載

③用途別売上高

(単位：億円)

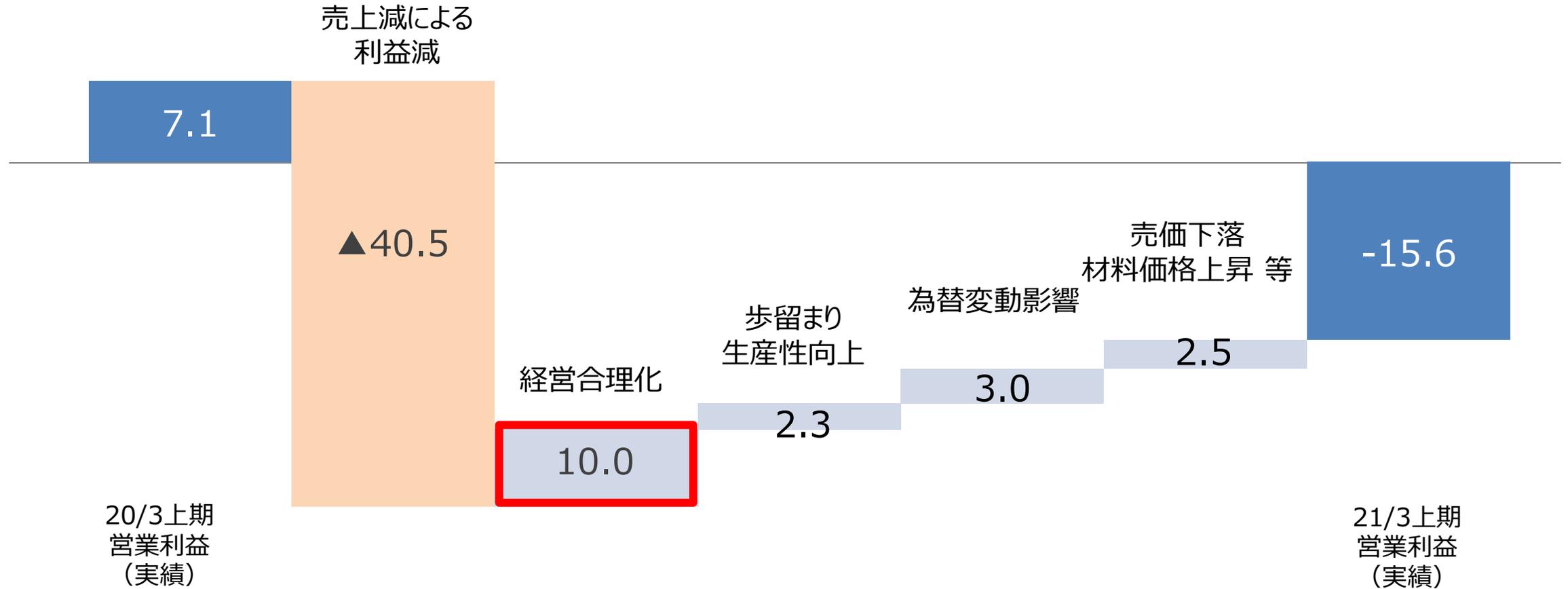


■ パワートレイン・走行安全系 ■ ボディ・快適系 ■ 情報通信系

- 車載向け売上高は、コロナ影響による世界的な自動車の生産・販売が大きく落ち込み前期比27.7%減少

④ 営業利益増減分析

(単位：億円)

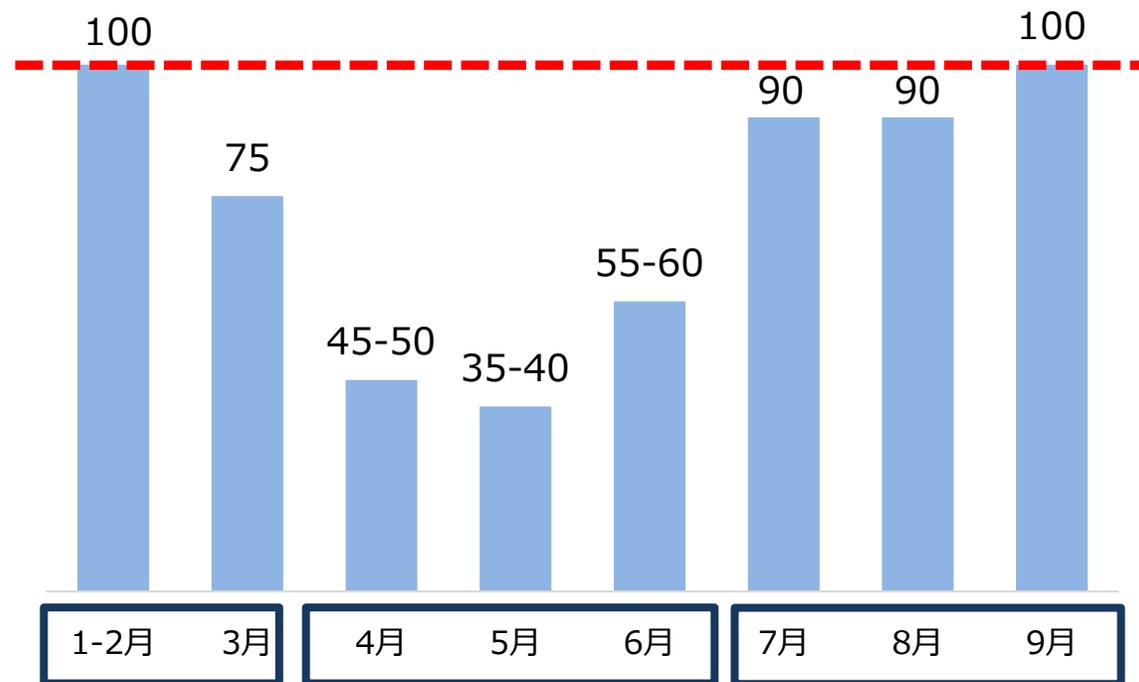


- 経営合理化策：コロナ影響による売上高減少に対する効率的な減産体制等による固定費削減効果

⑤ 上期の受注動向

グローバルでの受注実績指数

(新型コロナウイルス前 (1-2月平均) を100とした場合)



受注急減による生産への影響度合い

会計期間

連結	1Q			2Q			3Q		
	4月-6月			7月-9月			10月-12月		
国内	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
海外	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月

- 2020年3月より受注に影響
- 受注減少による生産影響は国内は1Q~2Q、海外は決算期ずれの影響により2Q~3Qに影響

⑥ 四半期売上高・営業利益推移

(単位：億円)

売上高推移

	20/3期				21/3期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
国内	125	127	120	110	94	107
海外	146	153	149	142	124 (1月-3月)	98 (4月-6月)
計	273	279	269	253	220	204
消去又は全社	▲60	▲62	▲65	▲61	▲55	▲48
連結	213	216	204	193	164	157

営業利益推移

	20/3期				21/3期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
国内	0.3	2.3	-0.3	-2.5	-6.0	-6.6
海外	2.6	4.9	8.5	6.0	2.4 (1月-3月)	-2.2 (4月-6月)
計	3.0	7.2	8.0	3.6	-3.6	-8.8
消去又は全社	▲1.5	▲1.5	▲1.5	▲1.3	▲1.7	▲1.4
連結	1.4	5.7	6.6	2.3	-5.4	-10.2

2. 2021年3月期 連結業績見通しと取組み

① 連結損益

(単位：百万円)

	20/3期 実績	21/3期 見通し	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	82,619	68,500	-14,119	-17.1%
営業利益	1,601	-1,500	-3,101	-
率	1.9%	-	-	-
経常利益	792	-1,400	-2,192	-
当期純利益	-1,128	-2,100	-972	-
平均為替レート (USD/JPY)	109.25	104.00	-5.25	-4.8%

②連結損益 下期見通し

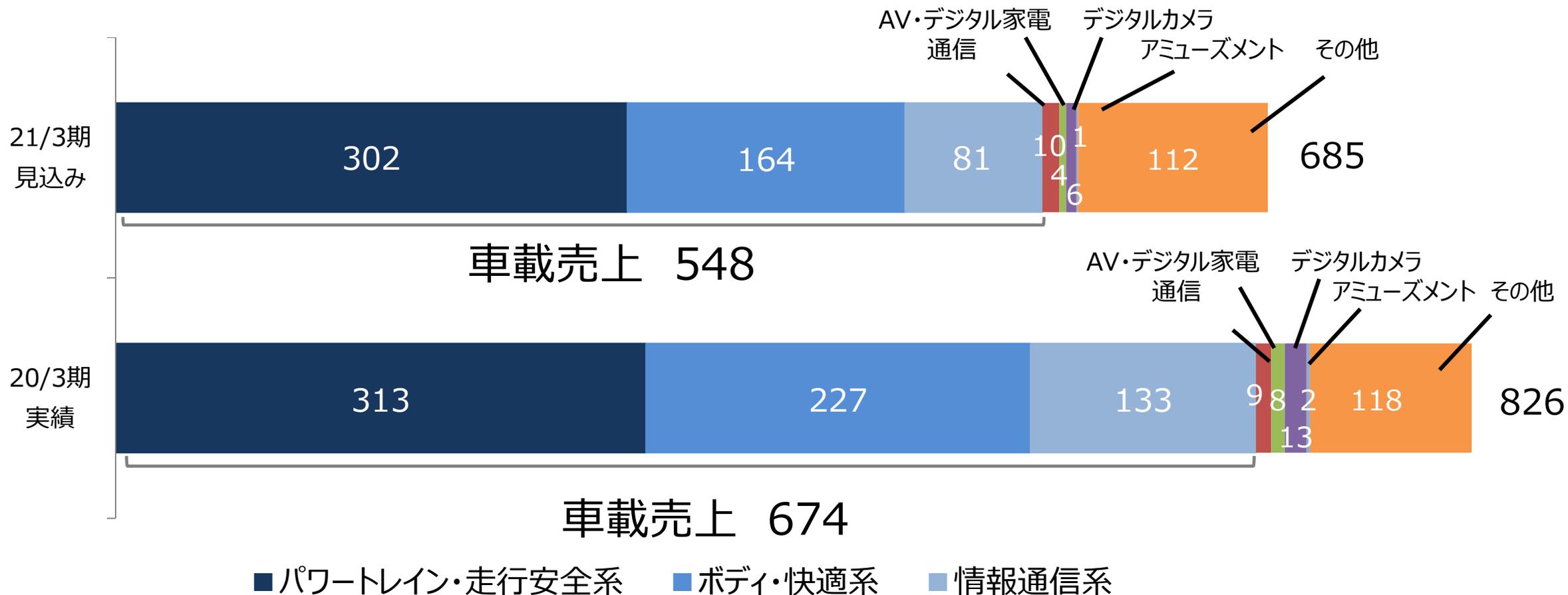
(単位：百万円)

	21/3上期 実績	21/3下期 見通し	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	32,100	36,400	+4,300	+13.4%
営業利益	-1,560	60	+1,620	-
率	-	0.2%	-	-
経常利益	-1,485	85	+1,570	-
当期純利益	-1,748	-352	+1,396	-

※「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として記載

③用途別売上高

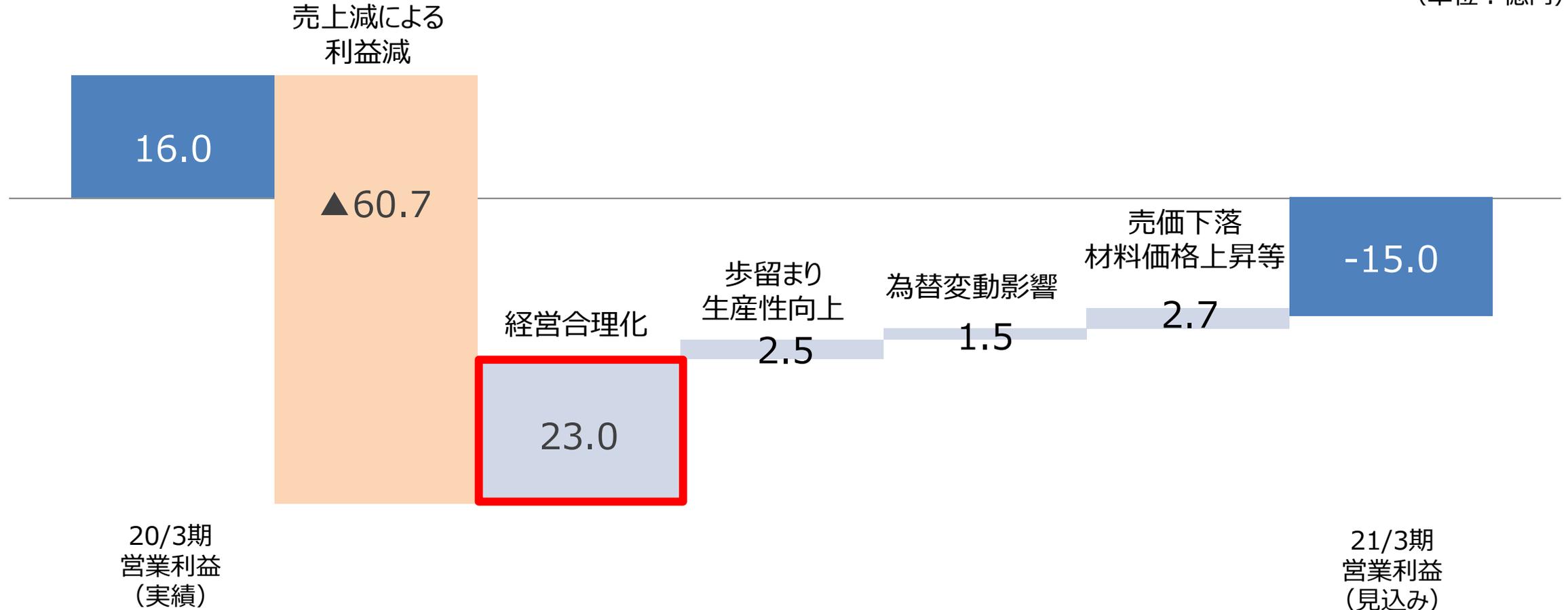
(単位：億円)



- 車載売上高は注力分野のパワートレイン・走行安全系向けの販売回復強い
- 通信は前期比20%増加

④ 営業利益増減分析

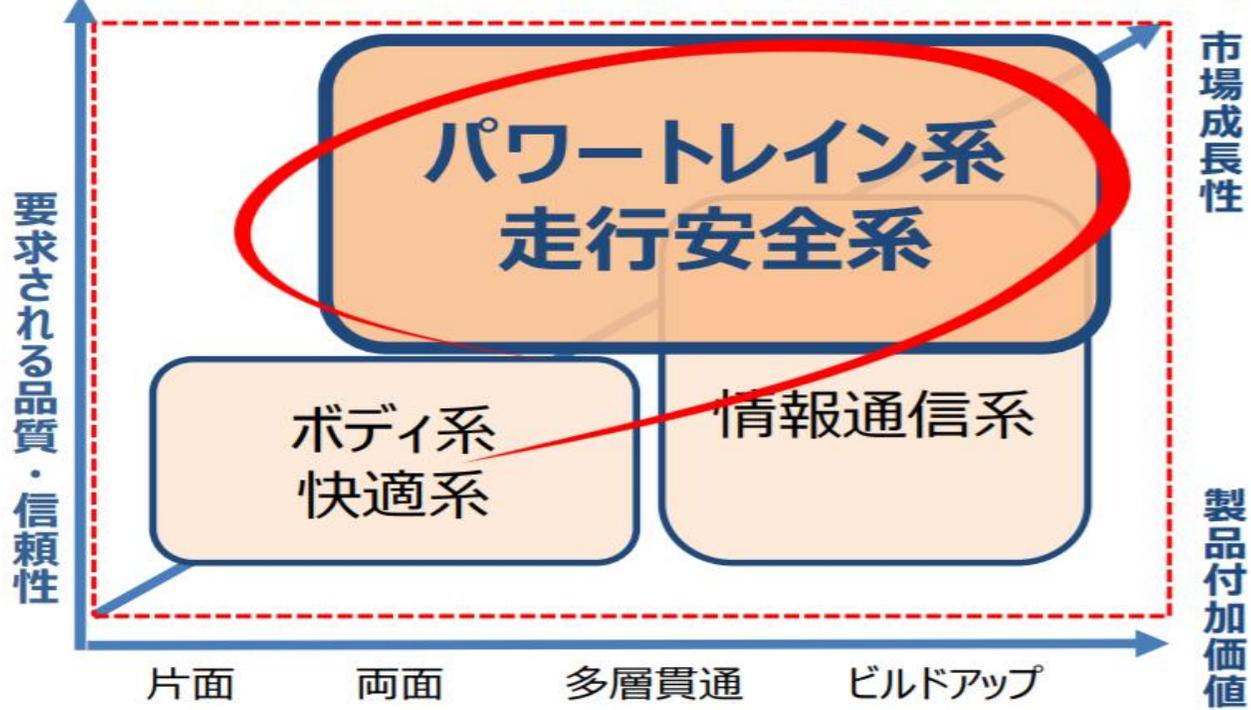
(単位：億円)



- 経営合理化策：コロナ影響による売上高減少に対する効率的な減産体制等による固定費削減効果
⇒来期以降も経営合理化の効果は継続

⑤ 既存事業領域における取組み

車載用途における競争優位性のある事業領域：



市場成長性

製品付加価値

パワーtrain系

- エンジン制御装置
- HV/EV系ECU
- 電池関連
- パワーコントロールユニット(PCU)
- 電動可変バルブタイミング など

走行安全系

- 画像センサー
- ミリ波レーダー
- LiDAR
- ドライバーサポートシステム
- ブレーキ関連 など



ボディ系

- ヘッドアップディスプレイ
- メーターパネル など

快適系

- ミラー制御
- パワーシート など

情報通信系

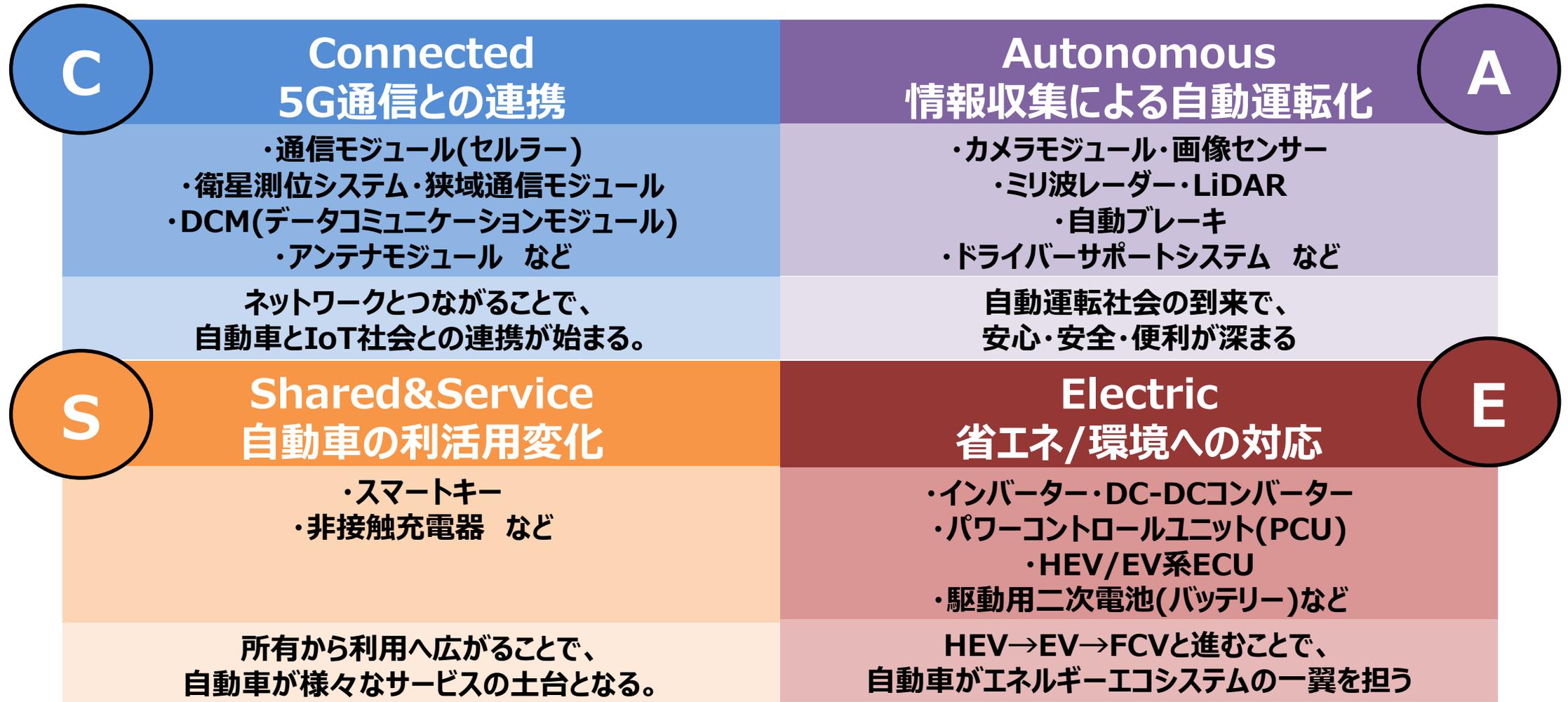
- ドライバーステータスマーター
- 車載通信機 など

▶ 品質・信頼性要求が高い用途に強み

(中期経営計画2019より再掲)

- 引き続き既存事業領域の柱としてパワーtrain・走行安全系向けに注力
- 自動車の電動化の流れはCASEの進展とともに加速

⑥ 既存事業領域からの拡大（自動車はCASE時代へ突入）



- 5Gの普及に対して車載と通信の融合が進む
- 技術ニーズに対応することで、5G関連市場への参入も図る

⑦新事業領域への開発設備投資の実行

【投資概要】

目的：今後の5G普及による高速大容量時代において、
プリント基板に求められる要素技術を確立する

金額：約20億円（第1次投資）

拠点：新潟工場

その他：
・研究開発機能を新潟工場へ集約して、
開発機能の強化を図る
・多品種少量生産体制の構築



⑧技術ロードマップ

5G通信を含むCASEへの対応で、多層/多段HDI化が進展し、高機能・高信頼性要求が高まる。

車載用途	代表的アイテム	市場ニーズ	基板要求	2020年	2021年	2022年以降
電動化	インバータ HEV/EV系ECU PCUなど	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット小型化対応 ・高電圧要求 (EVの電圧はガソリン車の10倍以上) ・高耐熱要求 (民生品の1.5倍超) ・PHV、EV用大電流基板 (コイル等) ・放熱要求 	小型化 /次世代	量産中	試作	量産
			厚銅	試作	量産	
ADAS 自動運転 ↓ ↓ ↓ Connected (5G連携)	ミリ波レーダ センサ	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる小型化 ・回路精度向上 ・低損失材料の適用 	ビルドアップ ^o	量産中		
	センシングカメラ	・車載カメラ対応、厚板リジッドフレックス配線板	MSAP	試作	量産	
	通信モジュール (DCMなど)	・多ピンプロセス搭載のファイン化・多段化	厚板RF	開発	試作	量産
	画像制御	・次世代モデル向け高密度化対応	多段HDI	開発	試作	
	統合ECU	・多ピンプロセス搭載のファイン化・多段化	ファイン化 インピーダンス	開発	試作	
5G通信	アンテナ/モジュール	・通信関連機器向けモジュール (5Gインフラ/ Local-5G含)	多段HDI	開発	試作	
			低損失 高アスペクト	試作	量産	

3. 補足資料

①用途別売上高



(単位：億円)

	20/3上期 実績	21/3上期 実績	前年同期比	21/3期 見通し
車載	351	254	-97	548
通信	4	4	-0	10
AV・デジタル家電	4	2	-2	4
デジタルカメラ	6	3	-3	6
アミューズメント	1	1	-0	1
その他	60	54	-5	112
合計	429	321	-108	685

②基板種類別売上高

(単位：億円)

	20/3上期 実績	21/3上期 実績	前年同期比	21/3期 見通し
ビルドアップ配線板	113	83	-29	178
多層プリント配線板	220	163	-57	347
両面プリント配線板	67	47	-20	99
その他	28	26	-1	60
合計	429	321	-108	685

③地域別業績



(単位：億円)

	20/3上期 実績		21/3上期 実績		前年同期比		21/3期 見通し	
	売上	営業 利益	売上	営業 利益	売上	営業 利益	売上	営業 利益
日本	252	2.6	201	-12.6	-51	-15.3	433	-9.7
中国	145	7.5	107	3.0	-37	-4.5	229	6.7
東南アジア	122	-1.6	97	-3.7	-24	-2.0	180	-5.9
欧米	32	1.6	18	0.9	-13	-0.6	37	1.7
計	552	10.2	424	-12.4	-127	-22.6	880	-7.1
消去又は 全社	▲122	▲3.0	▲103	▲3.1	+18	-0.1	▲195	▲7.8
連結	429	7.1	321	-15.6	-108	-22.7	685	-15.0

④設備投資



(単位：億円)

	20/3上期 実績	21/3上期 実績	前年同期比	21/3期 見通し
国内	5	3	-2	21
海外	51	9	-41	20
連結	57	13	-43	42
減価償却費	22	22	-0	45

本資料における将来情報は、2020年11月時点での見通しであり、
その実現を保証するものではありません。

(金額は切捨て、%は小数第二位を四捨五入にて表示)

END